

遺愛学院前理事長・校長の野田義成先生が 8月5日（月）にご召天されました。

遺愛の理事長を10年、遺愛女子中学高校の校長を14年、遺愛幼稚園の園長を5年務めた野田義成先生が8月5日（月）に天に召されました。

8月7日に葬儀が、日本キリスト教団札幌教会で親族と教会員のごく内輪で行われました。葬儀の日は野田先生の85才の誕生日でした。

野田先生は函館生まれ、函館中部高校出身で、道教育大函館校を卒業し、道立高校の英語の先生になりました。定年前には出身校の函館中部高校の校長を務め、今の中部高校の校舎建築に当たりました。クリスチャンだった野田先生は中部高校定年後に遺愛の校長になり、80才になるまで20年間遺愛学院に関わってくれました。

遺愛における野田先生の最大の功績は、大体育館すなわち遺愛アリーナ建築（2006年着工）を決めたことです。理事会でも生徒減を迎えつつあるなか異論があったのですが、生徒の皆さんのために良い教育環境を用意したいという思いから決断しました。特に、アリーナのエアコン設置の決断は最大の功績でした。当時は北海道の学校体育館でエアコンがついたのは遺愛が初めてです。現在の遺愛の部活動の大活躍、行事の充実は、このアリーナ建築なくしてはありえませんでした。

奥様の純子（すみこ）さんは遺愛出身でK3回生です。心からお悼み申し上げますと共に、ご家族に主の平安と慰めがありますようにお祈りします。

2019年8月9日（金）



高校予餞会で教職員に囲まれて歌う野田先生

